

令和5年度

新時代に対応した高等学校改革推進事業  
(普通科改革支援事業)

「未来創造学科」

# 研究実施報告書

## 第2次

和歌山県立串本古座高等学校

# 令和5年度 事業推進報告書

1	報告書の趣旨	1
2	学校の概要と普通科改革に係る経緯	
(1)	コース、定員等 現在および次年度からの概要	
(2)	普通科改革に係る経緯	
①	2017（平成29）年度 グローカルコース設置、全国募集開始	
②	2022（令和4）年度 宇宙探究コース設置を含む普通科改革推進事業の研究指定を受ける	3
3	本年度の取組	6
(1)	新学科名の決定	
(2)	令和5年度 普通科改革に係る活動年表	
(3)	事業推進体制	8
①	学内組織	
②	学外組織	
a	コンソーシアムの会議（宇宙教育検討会議）	9
b	運営指導委員会	10
c	地域協議会	12
d	学校運営協議会	13
③	コーディネーター	14
(4)	宇宙専門教員	
①	略歴	
②	本年度の取組	15
a	校内業務（授業・部活動・分掌）	
b	令和6年度より始まる宇宙探究コースの学校設定科目の活動計画立案	
c	対外宣伝兼宇宙教育活動	
d	大学等との連携	
③	今後に向けての展望と感想	
④	本年度の活動実績年表	17
(5)	学校改革に係る教員研修	18
①	先進校視察および情報共有	
a	愛媛県立三崎高等学校 令和 5年10月12日	
b	宮崎県立飯野高等学校 令和 5年11月28日	
c	大分県立国東高等学校 令和 5年11月29日	
②	学校改革に係る教員研修	19
a	現職教育 「発達に課題のある生徒の理解と支援」 講師：稲田氏	
b	現職教育 「星空を活用した持続可能な観光地域づくり」 講師：尾久土氏	
c	現職教育 よりよい授業のためのワークショップ	
d	総務省統計研究研修所・令和5年度第3四半期「地域分析」統計研修	
e	各教員の授業工夫紹介 「Try Report」	
③	コーディネーター研修	
(6)	各コースのカリキュラムと学校設定科目の内容	23
(7)	普通科改革に係る生徒活動	25
①	CGS部員の地域との連携活動	
②	天体ワークショップの補助 令和 5年 7月30日	
③	学校説明会 体験授業 体験観望会 令和 5年 8月19日	
④	宇宙シンポジウム in 串本2023 令和 5年 8月20日	
⑤	京都産業大学との連携授業 令和 5年11月 9日	
(8)	新学科高校の発足に係る広報活動	27
①	「学校PR動画」の作成と公開	
②	「地域みらい留学プラットフォーム」の利用	
③	周辺中学校への学校説明	
(9)	備品設備の整備計画	28
4	おわりに	29

# 令和5年度 事業推進報告書

## 1 報告書の趣旨

和歌山県立串本古座高等学校（以下 本校）では、平成29年度より地域の自然や文化を教育資源とした特色のある教育コースを設置するなど、学校魅力化改革を行ってきた。その経験と実績の上に、令和4年度より和歌山県教育委員会と連携して文部科学省による「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」の研究指定校として3年間の事業指定を受けた。今年度はその3年間の普通科改革事業の2年目にあたる。本報告書は昨年度の第一次報告書に続く、令和5年度の本校の取組をまとめた第二次報告書である。

どの現場でもそうだと思うが、事業の進展は期待していたとおりに進む部分もそうでない部分もある。その経緯の中には、今後の我々自身も含めて同様に改革を志す諸人の参考になるヒントがあるかもしれない。そこで本報告書では、本校が今年度何をしようとし、そしてどのような結果をもたらしたか、できるだけ客観的に振り返りたいと考えている。

## 2 学校の概要と普通科改革に係る経緯

### (1) コース、定員等 現在および次年度からの概要

#### 令和5年度入学生

課程	学科	生徒定員
全日制	普通科	120

#### コース

1年	2年	3年
クリエイティブ	クリエイティブ	クリエイティブ
	グローバル	グローバル
アドバンスト	アドバンスト	アドバンスト

#### 令和6年度入学生

課程	学科	生徒定員
全日制	未来創造学科	120

#### コース

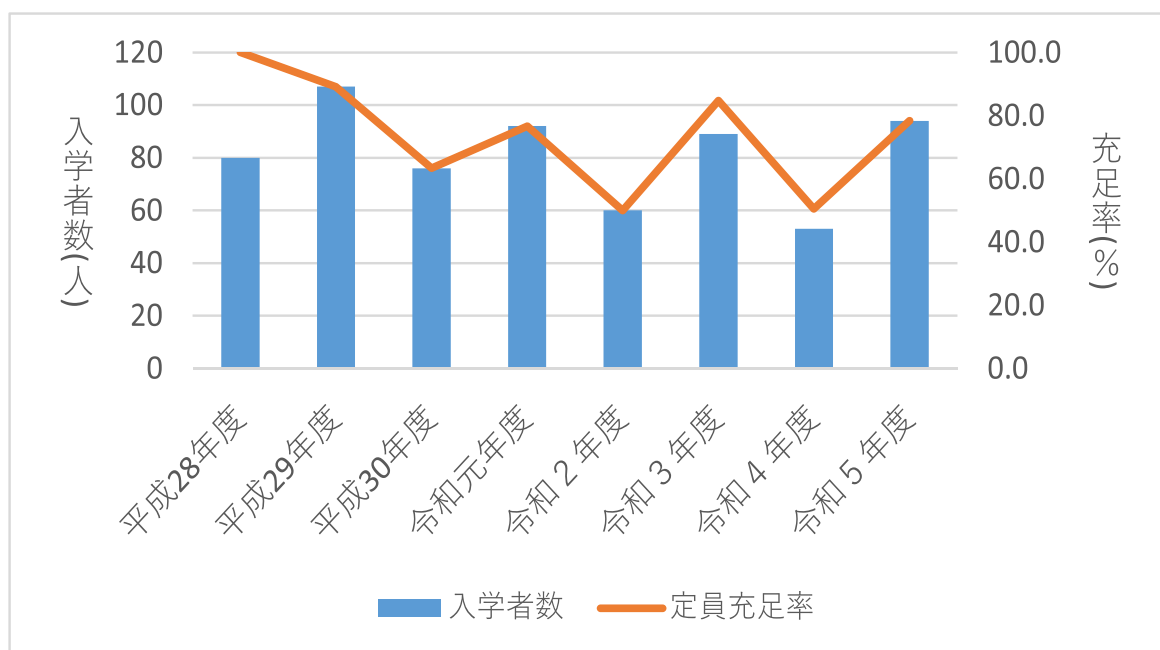
1年	2年	3年
地域探究	地域探究	地域探究
文理探究	文理探究	文理探究
宇宙探究	宇宙探究	宇宙探究

### (2) 普通科改革に係る経緯

#### ① 2017（平成29）年度 グローバルコース設置、全国募集開始

和歌山県南部に位置する串本・古座川両町は、生産年齢人口が流出し、少子高齢化及び過疎化が急速に進み、地域の小中高校の統廃合が進む典型的な過疎地域である。平成30年度末には和歌山県立串本古座高校古座校舎も閉鎖され、両町に存在する高校は、串本古座高校串本校舎（現串本古座高校）のみとなった。しかも当地域の中学生は少なからぬ割合が他地域の高校に進み、本校は定員割れが続き（図1）、将来的な存続も危ぶまれるようになった。

図1 入学者数(定員充足率)の推移

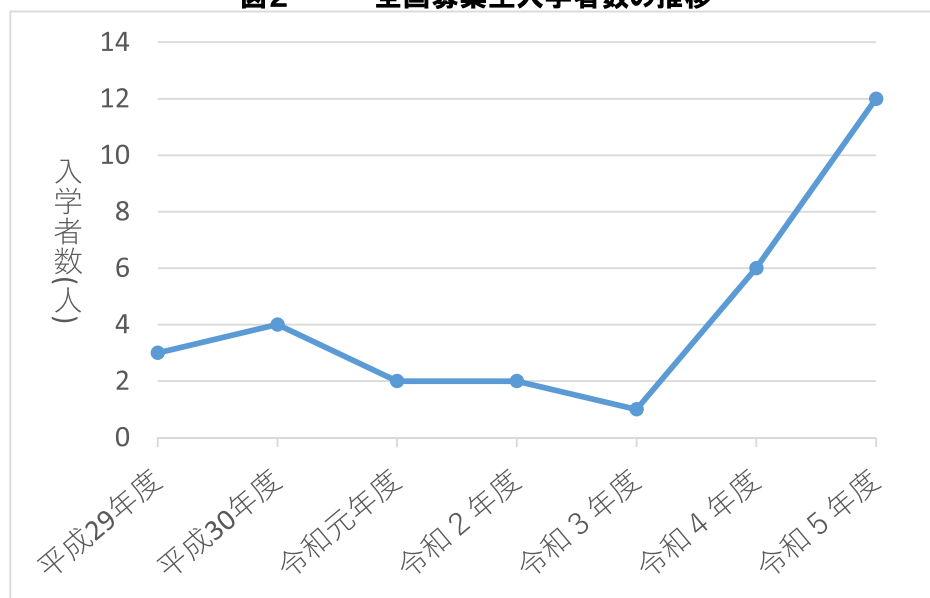


地域から高校がなくなるのは、本校に関係する人員だけでなく、地域の様々な人にとっても残念で由々しい問題である。そこで本校は、地域と一体となって平成28年度から計画的にてこ入れを行うこととした。すなわち、当地域の優れた自然・文化・歴史(本州の最南端に位置する地理的特性、清流古座川、ラムサール条約登録地である沿岸海域のサンゴ群落、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」、南紀熊野ジオパーク、民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」、1890年のエルトゥールル号遭難事件以来のトルコとの交流など)を教育資源とするグローバルコースを設置し、全国募集を開始した。それは生徒数の維持のみならず、本校を卒業した生徒が当地域の良さを再認識し、地域の様々な課題を実際の当事者となり改善・解決していく人材育成の狙いもあった。

当初は手探りで始まった取組であったが、経験の積み重ねとともに効果が上がりはじめ、また外部の学識経験者や地域の多くの人々の協力を得て、軌道に乗った学校体制となった。卒業生に対するアンケート調査でも、「地域に愛着を感じる」生徒が増え、「ありのままの自分が尊重される」という社会的な自信も強くなってきた。

生徒募集の点でも変動はあるものの、生徒定員の1割程度という全国募集生の入学制限枠に近い応募が集まるようになった(図2)。

図2 全国募集生入学者数の推移



## ② 2022（令和4）年度 宇宙探究コース設置を含む普通科改革推進事業の研究指定を受ける

本校の改革は、前述の通り文部科学省の普通科改革推進事業指定を受ける数年前からすでに始まっていた。そしてその経験と実績の上に、さらに発展的な学校づくりを目指して文部科学省の「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」の公募に応え、令和4年度から3年間の事業指定を得た。

ただしこの改革構想の背景には、本校が所在する串本町に新たに民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」が建設されたという地域事情が絡んでいる。発射場で人工衛星を積んだロケットが打ち上がるとなれば、当然当地は宇宙・ロケットの街として全国から注目を集める。また宇宙やロケットに関連する産業が地域に興る可能性も出てくる。2020年代半ばには年間20機ほどのロケットが発射されるという構想もあり、そうなるに衰退しつつある地域産業が宇宙を起爆剤として大きく活性化するかもしれない。そうするとそのような産業を支える人材が必要になってくるが、できるなら地元で育成していきたい。しかも、宇宙は学びの対象としても様々な要素を含んで奥が深く、魅力的である。ロケット発射場と連携して、それこそ他にない魅力的な教育活動を展開すれば、宇宙に関心を持つ子どもたちが全国から集まり画期的かつ魅力的な教育が展開できるのではないか。子どもたちの強い意欲に基づいて探究的な学習を展開すれば、チャレンジ精神が養われ、自らの可能性を切り拓く人生を歩み出すことができるかもしれない。そうなれば、学校の活性化及び生徒数の維持のみならず、地域の未来を支える人材の育成とともに魅力的なモデル校として日本の教育に大きな一石を投じることできる。もちろんこのことは周辺地域にも元気を与えるきっかけになるだろうし、宇宙の最先端地域として新しい誇りが生まれてくるかもしれない。そのような期待を込めて、本校はこれまでの地域の自然・文化を対象としたグローバルコースに加えて、新しく宇宙を専門的に学ぶ「宇宙探究コース」を開設し、魅力ある複数のコース制を持つ高校に生まれ変わることを目指し、改革に踏み出した。

幸い本校は、これまでのグローバルコースでの教育活動をとおして、地域と連携した体験的学習の展開には実績があり、新しい学習コースの設置や魅力的な特設科目の開設についても経験済みである。この機会にこれまでの成果を整理しつつステップアップを図れば、改革事業の中でより充実した制度に生まれ変わることもできる。

だがこの改革案は現場教員にとってはかなり唐突であり、理解が追いついていないところがあった。特に「宇宙」に関しては本校教員の中に十分な知識を持つ教員がおらず、その有効性も可能性も見通せない状況にあって、当初は消極的な反応や不安を感じる教員が多かった。そのため改革計画は、それを担う本校職員の意識になじんでいくまでに相当な時間と抵抗感の解消を必要とした。3年間に及ぶ支援事業計画の1年目、すなわち令和4年度は、この改革案をいかに本校職員が受け入れ、納得できるところに落とし込んでいくかに費やした1年であったといっても過言ではない。

このように、組織の改革に伴って現場にあつれきが生じるケースは一般的によくある。場合によってはその結果、改革が行き詰まって計画倒れで終わる例もあるが、本校はそうはならなかった。

本校の場合、初年度半ばになっても現場では普通科改革を「やるかやらないか」議論しているような状況であったが、反対一色の中にあっても令和4年度に赴任した校長は、改革の必要性や有効性を力説しつつ断行の決意を示した。また宇宙探究コースの創設に関しては、全国から宇宙に関連する様々な分野の専門家をコンソーシアムとして招集し、「宇宙教育検討会議」を複数回（オンライン開催を含む）行った。会議にはその都度提出に足る資料を作成しなければならないが、そういった作業をとおして漠然とした改革構想が少しずつ明文化され、そこに様々な角度から有益な意見や指摘が加わって確実に構想が形になっていった。また、宇宙教育検討会議をはじめ関係する様々な協議をとおして、本事業の管理機関である県教育委員会の担当者との地道なやりとりを続けたこともバランスのとれた改革計画を築くのに役立った。やはり組織を動かしていくためには、各方面で地道な対話を続けることが大切なのであろう。ともかくこのような経緯を経て、

学校内外で様々な検討を重ねた結果、初年度末には令和6年度からの普通科改革の大枠および各コースのカリキュラム（図3）が完成した。本校がこれまで行ってきた地域学習の取組も整理し直し、「宇宙探究コース」「地域探究コース」「文理探究コース」の3つのコースの中でバランスよく展開できるようにされている。（詳しくは令和4年度報告書を参照）

**目指す生徒像**



多角的なもの見方や考え方を身につけ、自立的、主体的、継続的に学ぶ態度を養い、自ら知識や技術を生み出し、自分の人生を切り拓くため、生涯を通じて挑戦し続ける生徒

宇宙への挑戦  
教科横断  
自然遺産  
探究的な学び  
地域の人・文化  
体験的な学び  
自らの可能性  
地域の国際資源  
チャレンジする仲間



新しい普通科

学科名 普通科 → 「**未来創造学科**」が変わる



生徒の未来を創造  
地域の未来を創造  
日本の未来を創造するため  
(世界)

魅力ある学校作りに向けて  
学科名を変更しました。

**宇宙探究コース**

ロケット射場を持つ地域特性を生かし、宇宙からの視点で考えることを学ぶ



**文理探究コース**

地域の特性を学びつつ、国際社会で活躍できる語学力や分析力を高める



**地域探究コース**

豊かな自然や文化といった地域資源を生かし、社会課題の解決を目指す



図3 令和6年度入学生 教育課程展開表

地域探究コース

学年	コース	必修科目											宇宙科目				地域科目				その他の学校設定科目				31	32							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23			24	25	26	27	28	29	30
1年	地域探究	現代の国語		言語文化		地理総合		歴史総合		数学Ⅰ		数学A		英語コミュニケーションⅠ		論理・表現Ⅰ		科学と人間生活		体育		音楽Ⅰ		美術Ⅰ		家庭基礎		保健		地域探究		LHR	総合的な探究の時間
2年	地域探究	文学国語				公共		数学Ⅱ		英語コミュニケーションⅡ				生物基礎		日本史探究 世界史探究 地理探究		音楽総合 美術総合 書道総合 情報処理		情報Ⅰ		体育		保健		マリンスポーツ フードデザイン 情報デザイン 介護福祉基礎		南紀デュアル 紀伊半島探究α 宇宙探究基礎		LHR	総合的な探究の時間		
3年	地域探究	論理国語		国語表現		日本史探究 地理探究 世界史探究		政治・経済		実践数学		英語コミュニケーションⅢ		体育		器楽 素描 実用書道 情報処理		生物探究 論文探究α		専門数学探究 文化共創探究		ジオパーク学探究 間書人物探究		水産生物探究 紀伊半島探究β		南紀文化探究		LHR	総合的な探究の時間				

文理探究コース

学年	コース	必修科目											宇宙科目				地域科目				その他の学校設定科目				31	32							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23			24	25	26	27	28	29	30
1年	文理探究	現代の国語		言語文化		地理総合		歴史総合		数学Ⅰ		数学A		英語コミュニケーションⅠ		化学基礎		物理基礎 生物基礎		体育		音楽Ⅰ		美術Ⅰ		家庭基礎		保健		地域探究		LHR	総合的な探究の時間
2年	文理探究	古典探究		公共		数学Ⅱ		数学B		英語コミュニケーションⅡ		地学基礎		化学		物理		情報Ⅰ		体育		保健		宇宙ビジネス探究		実用英語		現代文探究		LHR	総合的な探究の時間		
3年	文理探究	論理国語		政治・経済		数学Ⅲ 数学探究α		数学C 文学国語		英語コミュニケーションⅢ		体育		情報探究 論文特講		化学		日本史探究 世界史探究 地理探究		物理		総合英語探究		応用社会探究 生物		応用国語探究 応用理科探究		LHR	総合的な探究の時間				

宇宙探究コース

学年	コース	必修科目											宇宙科目				地域科目				その他の学校設定科目				31	32							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23			24	25	26	27	28	29	30
1年	宇宙探究	現代の国語		言語文化		地理総合		歴史総合		数学Ⅰ		数学A		英語コミュニケーションⅠ		化学基礎		物理基礎 生物基礎		体育		音楽Ⅰ		美術Ⅰ		家庭基礎		保健		宇宙探究基礎		LHR	総合的な探究の時間
2年	宇宙探究	古典探究		公共		数学Ⅱ		数学B		英語コミュニケーションⅡ		地学基礎		化学		物理		情報Ⅰ		体育		保健		情報Ⅰ		宇宙ビジネス探究		宇宙観測と利活用 実用英語		宇宙航空工学		LHR	総合的な探究の時間
3年	宇宙探究	論理国語		政治・経済		数学Ⅲ 数学探究α (1A/ⅡB+C)		数学C 文学国語		英語コミュニケーションⅢ		体育		情報探究 論文特講		化学		日本史探究 世界史探究 地理探究		物理		総合英語探究		衛星データ分析と活用 応用社会探究		宇宙と国際理解		LHR	総合的な探究の時間				

### 3 本年度の取組

新学科・新コースのスタートは令和6年度であるが、それに向けて、令和4年度に策定した新カリキュラムの具体的な活動内容を検討し、可能な部分は先行的に実施して効果や問題点の検証をするなど最終的な準備を行うのが令和5年度の目標である。また、宇宙探究コースの開設にあたり、県教育委員会から新たに加配された宇宙担当教員の地ならしの意味合いもある。それらについての詳細は、次に説明する。

#### (1) 新学科名の決定

普通科改革事業は、従来の普通科を見直し、学校が独自の新たな学科を設けることを目標の一つにしている。ただし学科名は、学校の姿勢をまず最初に訴える重要な“顔”であり、頻繁に変えられるものではない。従ってその決定は慎重に行われるべきであり、本校では職員から意見を募ったり、何度も検討を重ねて新しい学科名の決定に至った。

そもそも普通科改革は、令和3年1月の中央教育審議会答申等において、「高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための教育が必要」との具申に端を発している。高等学校は本来、義務教育段階において育成された基礎的な資質・能力を元に、さらに生徒の多様な能力・適性、興味・関心等に応じた学びの実現を目指すものである。しかし元来の「普通」科という名称は、一斉的・画一的という印象を与えやすい。そこでこれを改め、地域の実情に応じながら次のような目標を目指す、特色・魅力ある新しい学科を創設するのが普通科改革の狙いである。

- ・普通教育を主とする学科の弾力化
- ・教科横断的な探究的学習や STEAM 教育
- ・特色・魅力ある文理融合的な学び
- ・今後の社会に望まれるデジタル人材育成
- ・遠隔オンライン等を活用した新たな教育方法の開発

本校はこの改革趣旨に則り、地域が持つ教育資源を活用した「宇宙探究コース」「文理探究コース」「地域探究コース」の3つのコースをもつ「新たな普通科」に生まれ変わろうとしている。また地域社会が抱える諸課題に対応し、魅力的な特色をもつ学びをとおして地域や社会の将来を担う人材の育成を図っている。そこで、本校の普通科としての新しい学科名称は、自らの可能性に果敢にかつ自由に挑戦し、実践的・探究的な学びをとおして自分の将来や社会の未来を創造しながら切り拓いていく生徒を育む普通科高校として「**未来創造学科**」とした。

( 参考 )

#### ☆「未来創造学科」以外に提案のあった名称

- ・未来探究学科
- ・グローバル学科
- ・地域みらい学科
- ・地域体験学科
- ・創造社会科 社会創造科
- ・地域学科

#### ☆文部科学省の研究指定を受けた他校の新学科名

多くの学校は「地域社会学科」、「学際学科」、「学際領域学科」

- ・探究創造科 (浜松学芸高等学校)
- ・地域共創科 (島根県立隠岐島前高等学校)
- ・未来共創科 (北九州市立高等学校)
- ・地域科学科 (長崎県立松浦高等学校)
- ・STEAM探究科 (兵庫県立篠山鳳鳴高等学校)